

# 春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動（四月六日～十五日）に合わせて、市内でも様々な交通安全運動の取り組みが行われました。

六日に、対馬北警察署管内では、上県町佐護深山の交通安全地蔵前で、恒例の交通安全祈願祭が行われました。また、対馬南警察署管内でも安全祈願祭、市中パレードが実施されました。

運動期間中には、国道で交通安全キャンペーンが実施され、道行くドライバーに、シートベルトとチャイルドシートへの正しい着用の徹底などを呼びかけました。また、北署では運転者講習会も行われ、自転車用反射材の効果を確認するため、パトカーを使って講習が行われました。

交通事故は、加害者、被害者はもちろん、その家族にも深い傷をつけてしまいます。正しい交通ルールとマナーを守り、運転者みなさんが安全運転を心がけましょう。



国道キャンペーン



市中パレード



夜間講習会

## 交通事故巡回相談

長崎県では、交通事故被害者の相談を受けるため、巡回相談所を開設します。お気軽に相談にお出ください。

開催日・6月1日  
時間・10時～16時  
場所・対馬支庁第3会議室  
相談員・帯田正臣

## 交通事故情報

平成16年4月15日現在

区分	厳原町	美津島町	豊玉町	峰町	上県町	上対馬町	対馬市全体
発生件数	本年	10	9	0	1	1	22
	昨年比	-2	4	-5	1	1	-3
死者数	本年	1	0	0	0	0	1
	昨年比	0	0	0	0	0	0
負傷者数	本年	11	16	0	1	1	30
	昨年比	-3	5	-5	1	1	-5



トレーニングルーム  
使用料……200円  
(2時間)

問い合わせ先  
対馬市厳原町久田53  
厳原地区公民館分館  
ありあけ会館

平成15年度宝くじ助成を受けて、ありあけ会館トレーニングルームにルームラナー、エアバイク、マッサージ器を購入しました。みなさまのご利用をお待ちしております。

宝くじ助成事業  
ありあけ会館に  
トレーニング器具  
などを購入しました

# 郷土食 復活への 挑戦

「郷土食復活ワークショップの取り組み」



「ろくべえせぎ」をしています

旧厳原町の中心市街地を再生することを目的に住民と行政が協働して進めてきた中心市街地再生ワークショップのなかで、厳原の郷土食を食べることのできる店舗が少ない、若者が知らない郷土食があるなどの実態から、郷土食を復活させるために「郷土食復活ワークショップ」が現在までに二回実施されています。途中経過ですが、このワークシ

ョップの内容についてお知らせいたします。  
このワークショップは郷土食を復活させることを目的に開催するもので、食生活改善推進グループ（通称 食改）に全面的な協力をいただき、メニューの選定からワークショップ実施・調理・レシビ作成までを実施しました。  
まず、事前協議で実施方法やメニューの選定を行い、当

日は参加者全員を小グループに分けて調理からレシビの作成、全体での発表を行いました。もちろん、レシビは永久保存して、まちづくりに役立ててもらいます。二回のワークショップで取り上げたメニューは11種類となりました。

内山風いりやき

そばがき

さばすき（さしづけ）

かまぼこ

豆酸雑煮

かわなます

ろくべえ

うずみめし

ひるぜえ

くさびのせぎり

あえませなます

どれも対馬の郷土食として甲乙つけがたいものですが、特に「ろくべえ」は健康食ブームのなかで今注目を浴びている料理です。民俗学者 宮本常一の著「忘れられた日本人」のなかにも登場する「ろくべえ」は、江戸時代に保存食として作られたのが始まりです。サツマ芋を細かく砕いたものを自然発酵させ、水にさらすなどして、でんぷん質と繊維だけを取り出した「せ

んだんご」から作ります。「ろくべえ」は体内で消化されやすく、エネルギー源としての即効性に優れています。摂取後二時間以内の血糖値がうどんよりも高く、スポーツや農作業などの事前摂取に適しているとのことでした。

「第一回目は冬のメニュー、第二回目が春のメニューを実施したので、次は夏、秋と実施していき、城下町・厳原の郷土食を未来永劫伝承したい」と次のワークショップへも強い意欲を燃やしており、対馬の郷土食レシビを載せた分厚い本の完成が期待されます。



ワークショップ風景



おいそ〜にできました

「ワークショップって何？」

ワークショップ（workshop）とは、「ワーク」と「ショップ」というふたつのことが組み合わさってできています。

「ワーク」には、仕事、作業、作品、労働、努力などの意味があります。「ショップ」には、「場所、店」といった意味があります。ショップの意味を「店」と考えるとよく分かりませんが、「場所」と考えるとワークショップの意味がだんだんわかってきます。

つまり、ワークショップとは、心や体をいろいろ動かしながら、何かを作ったり考えたりする場所「なのです」。